

館内トイレとバリアフリー対策について

2023.6.12 みつなか美由紀議員

館内トイレについて

【みつなか議員】

利用者の方から、「トイレが少ない。場所が分かりにくい」などの声が寄せられています。

まずお聞きします。

名古屋港水族館内において、全体でトイレは何か所あり、個室はいくつあるのか。そのうち多目的トイレはいくつあるのかお答えください。

北館で7か所・37個室、北館南側にあるしおかぜ広場で1か所・4個室の合計で16か所・96個室あり、そのうち、多目的トイレは南館で6か所・6個室、北館で4か所・4個室、しおかぜ広場で1か所・1個室の合計11か所・11個室となっております。

	箇所数	うち、多目的
南館	8か所	6か所
北館	7か所	4か所
しおかぜ広場	1か所	1か所
合計	16か所	11か所

	男性	女性	多目的	合計
南館	20	29	6	55
北館	12	21	4	37
しおかぜ広場	1	2	1	4
合計	33	52	11	96

【みつなか議員】

水族館という性質上、小さな子ども連れの利用客が多い施設になります。今、商業施設でもトイレの個室には小さな子どもさんを座らせておけるチャイルドシートはほぼ完備されていますし、まだ座れない赤ちゃんを寝かせたり、おむつ替えのできるベビーシートが設置されている個室も多くなりました。水族館での設置状況はどうなっているのでしょうか。

ベビーチェアは、南館においては、トイレスペースが狭隘なため、男性用・女性用ともに設置しておらず、ベビーシートは多目的トイレに 5 か所設置しております。

北館及びしおかぜ広場においては、ベビーチェアは男性用・女性用合計で 20 か所設置しており、ベビーシートは多目的トイレに 5 か所設置しております。



【みつなか議員】

水族館にこられる方々のご意見などはどのように聞いているのか。その中でトイレの利用についての声はどのようなものがありましたか。そしてその課題として認識していることはどんなことがありますか。

利用者の声として、「障害者が優先的に使えるトイレの場所が分からない」があると、「車椅子対応の表記があっても、一般の方が利用される場合もあるため、表記方法を考えてほしい」などが上がっております。

また、現場での課題として、混雑するトイレと比較的空いているトイレとの差が生じていることは認識しております。特に入り口付近のトイレは混雑していると認識しており、他のトイレへの案内を行っておりますが、お客様の誘導や案内で分かりにくい部分を改善できるように努めてまいります。

【みつなか議員】

トイレの設置個所数や個室の数について、極端に少ないとは感じられませんが、利用者の方からの声や、現場での認識にもあるように、案内表示に工夫が必要であると感じます。

例えば、多目的トイレについては、男性用女性用トイレの個室に、ベビーカー事入れるスペース、広い個室を作ること、障害者の方が多目的トイレに入りやすくすることができないのではないのでしょうか。また、チャイルドシートやベビーシートの個室への設置は女性用トイレだけでなく、男性用トイレにも必要と考えます。

また混雑しているトイレと比較的空いているトイレを案内できるようなソフト面での強化をしていただくよう要望いたします。

館内という限られたスペースの中ですのであれもこれもというのは難しいと思いますが、利用者の方々ができるだけ快適に過ごせるようにしていただきたいと思います。

バリアフリー対策について

【みつなか議員】

施設の機能強化の観点からもう1点お聞きします。

「車いす利用者等への観覧通路のスロープかなど、安全・安心して観覧できる館内環境の改善を求める意見が入館者アンケートなどからあった」とのことですが、具体的にどのような意見があり、バリアフリー対策として、現場での課題はどのように認識していますか。

館内の観覧通路は、施設の構造上から階段が設置されていますが、階段から離れた場所に車いす利用者等向けのスロープが設置されています。このため入館者からは、車いす利用者等と一緒に通行できるよう、スロープ化を求める意見があります。

また、南館の「日本の海」「南極の海」などでは、観覧通路に狭隘な箇所があり、混雑時には入館者が集中して密集するため、通行に不便が生じるなどの意見があります。

このため、バリアフリー対策の改善など、誰もが安全・安心して観覧できる館内環境が必要であるものと認識しております。

【みつなか議員】

バリアフリー対策についても、施設の大規模改修・機能強化を行うということですから、利用者の方の要望をしっかりと取り入れていただいて、誰もが安心して快適に楽しめる施設にするということでご検討していただくことを要望します。